

# 学校等施設の耐震化の状況について

高山村教育委員会

## 1 趣 旨

学校施設は、児童生徒等が1日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。

高山村内学校等施設の耐震化の状況は次のとおりです。

## 2 村内学校等施設の耐震化の状況

(平成23年3月1日現在)

学 校 名	施 設 名	建 築 年 月	構 造	階 数	面 積 (㎡)	基 準 区 分	第2次診断		改修状況	補強後Is値
							Is値	判定		
高山小学校	校 舎	S58.02	RC	3	3,483	新	—	—	—	—
	体 育 館	S58.12	S	2	1,028	新	—	—	—	—
高山中学校	北 側 校 舎	S54.10	RC	3	1,960	旧	0.43	要補強	H22補強済	0.76
	南 側 校 舎	S54.10	RC	2	1,493	旧	0.71	耐震性あり	—	—
	武 道 館	S56.03	S	2	943	旧	0.24	要補強	H22補強済	0.76
高山幼稚園	北 側 園 舎	H03.03	S	1	1,125	新	—	—	—	—
	西 側 園 舎	H10.08	S	1	200	新	—	—	—	—
社会体育館	村 民 体 育 館	S53.03	S	2	1,300	旧	0.13	要補強	H22補強済	0.98

### <用語の解説>

- 「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- 「基準区分」欄に「旧」とあるのは新耐震基準（昭和56年）以前に建築されたものを、「新」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。
- (1) 「新」と表示されているものは、耐震性があります。  
(2) 「旧」と表示があるもののうち、耐震診断が必要となる建物は、非木造の2階建て以上または延べ床面積200㎡超の建物です。
- 「第2次診断」とは、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する方法です。
- 「Is値（構造耐震指標）」とは、建築物の耐震性能（地震に対する安全性）を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。国土交通省告示等によれば、第2次診断により算定したIs値が0.6以上の場合は、耐震性がある建物ということになります。